

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

西井川学校
「学力向上実行プラン」

- 授業と家庭学習の一体化のための振り返りの実践
- 認め合い、話し合い、学び合う授業の実践

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

【各校の取組状況の把握について】

(1)知識・技能の習得

管理職による授業参観や教員からの報告等、様々な機会を捉え、取り組み状況の把握を行う。

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○漢字の読み書きや計算練習などには、積極的に取り組んでおり、ある程度定着している。 ●問題を読み取る力や書く力が不足している。	・教科書の内容や問題文の意図、グラフ等が示す意味などの読み取りが正確にできる。 ・「はかせタイム(朝の活動の時間)」に基礎的・基本的な内容を反復学習し、80%の児童が習得できる。	・問題提起の部分や重要な部分などをアンダーラインや丸で囲ませ、学習内容を正確に読み取らせる。 ・算数パワーアップシートや漢字計算ドリル・読解力を高めるプリント等を活用し、基礎学力の定着80%を目指す。			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○学習態度が真面目な子が多い。協力しあったり教えあったりして学習することができる。 ●表現力が十分ではなく発表や説明が苦手な児童が多い。自分の考えを筋道を立て記述したり話したりすることに課題がある。	・友達の意図を考えながら対話して、自分の考えを少しずつ深めることができる。 ・学習のめあてに対し「本時で学んだこと」「大切だと思ったこと」などを重要語句を使いながら振り返りまとめることができる児童の割合を増やす。	・ICTを活用して視覚的に「これまでの学習」の過程や内容を掲示し、学習の振り返りができるようにする。 ・効果的な振り返りの方法を研修し、児童のよりよい学びにつながるようにする。 ・振り返りの時間をとり、何を学んだのかを自分で表現できるようにする。 ・話し合いのひな型を活用することで話し合いの方法を理解できるようにする。			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○家庭学習の提出は多くの児童ができて、与えられた課題には、きちんと取り組む。 ●問題を進んで追求していく力が弱く、最後まで続けて努力することに課題がある。	・各教科の学習に主体的に取り組む、定着した知識・技能を活用することができる。 ・【聴き方「あいうえお」】などの学習規律を身につけることができる。	・井川町小中学校で取り組む9年間を通じた系統的な学習習慣を育てるとともに、自ら学ぶ学習習慣を目指した家庭との協働体制づくりをする。 ・【聴き方「あいうえお」】を活用する。			

令和3年度 学力向上ロードマップ

